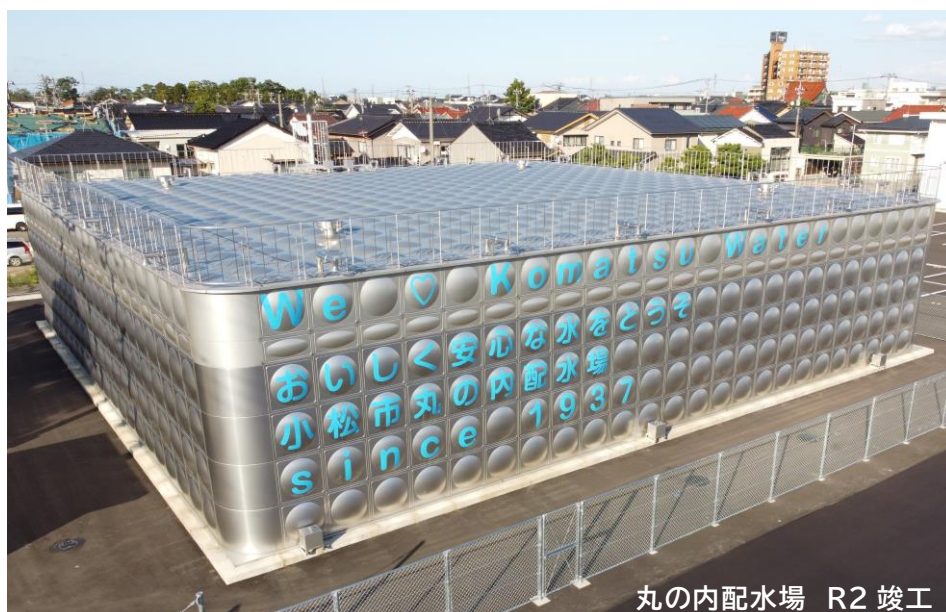


小松市水道ビジョン 2025



丸の内配水場 R2 竣工

令和7年4月

小松市上下水道局

目 次

第1章 小松市水道ビジョンについて.....	1
1. 水道事業の現状と策定趣旨及び位置づけ	1
(1) 小松市水道事業の現状	1
(2) 策定の趣旨	2
(3) 位置づけ	2
第2章 小松市水道が目指す理想像について.....	3
1. 基本理念、基本方針と取り組みの方向性	3
(1) 基本理念	3
(2) 基本方針と取り組みの方向性	3
(3) ミッション（使命）、バリュー（行動指針）	5
第3章 ビジョンの具体的な進め方と見直し.....	6
1. ビジョンの具体的な事業の進め方	6
(1) ビジョンの具体的な事業の進め方	6
2. ビジョンの見直し	7
(1) ビジョンの見直し	7

(2) 策定の趣旨

小松市の水道事業は、平成 21 年に「水道ビジョン」を策定して、安全で安心な水道の安定供給を行うため、お客様の利便性の向上と業務のより一層の効率化を図りながら健全経営に努めてきました。

しかしながらこの間、人口減少社会への移行や節水型機器の普及等による水需要の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増加に加え、近年の物価高騰など水道事業を取り巻く環境は厳しさを増してきています。

さらに、能登半島地震等の頻発化・激甚化する自然災害への対応、全国各地で発生している老朽管破損に伴う漏水事故など多くの課題に対応していかなければなりません。

こうした厳しい状況にあっても、市民生活や都市活動を支える最も重要なライフラインである水道事業を将来にわたり安定的にそして持続的に提供していかなければなりません。

また、国からは、水道事業経営が将来にわたって持続できるように令和 7 年度までに経営戦略を改定することが要請され、見直しにあたっての質を高める取り組みとして、更なる経営健全化や料金改定の検討などの経営改革を盛り込むことが求められています。

このような状況を踏まえ、水道ビジョンと密接に関連している「小松市水道経営戦略」を令和 7 年 3 月に改定したことから、水道ビジョンについても、両計画の整合性を図る観点から見直しを行いました。

(3) 位置づけ

本ビジョンは、国が策定を推奨している「水道ビジョン」とし、小松市の「都市デザイン」・「2040 年ビジョン」を上位計画として位置付けます。これらの計画との整合を図りつつ、将来を見据えた本市水道事業の理想像と進むべき方向性を示したものです。

本ビジョンの具体的施策は、「水道事業経営戦略」等において中長期的な視点で具現化します。

第2章 小松市水道が目指す理想像について

1. 基本理念、基本方針と取り組みの方向性

(1) 基本理念

先人から受け継いだ水道を次世代へ引き継ぎ、将来にわたって安全な水を安定して供給することが水道事業の使命であり責務として、本ビジョンの基本理念に掲げました。

【基本理念】

受け継いだ「こまつの水」を未来へ届ける

(2) 基本方針と取り組みの方向性

基本理念を実現するための「安全」・「強靱」・「持続」の3つの視点から水道事業の基本方針と取り組みの方向性を決めました。

① 基本方針1

【安全】安全で安心な「こまつの水」

適切な維持管理により、今後も市民が安心して利用できる安全で安定した良質な水道を未来に届けます。

【取り組みの方向性】

(1) 水質管理の強化

安全で良質な水道水を供給するため、計画的に水質検査を実施します。

(2) 安定した水道水質の確保

安全な水道水を安定して提供できるよう、末端での残留塩素濃度などを適正に管理するため、水質監視を継続します。

② 基本方針2

【強靱】 強靱な「こまつの水」

激甚化、頻発化する地震や豪雨などの自然災害があっても被害を最小限にとどめる対策を進めると共に、最適化を進めコンパクトで強靱な災害に強い水道インフラを未来に届けます。

【取り組みの方向性】

(1) 施設等の適切な維持管理

水道施設・管路の老朽化等の原因による事故の防止や安定した水道水の供給のため、水道施設等の点検・管理・修繕を行います。

(2) 施設等の計画的な更新と耐震化

地震被害による水道施設・管路への影響を最小限にとどめるよう、計画的な更新・耐震化を進めます。水道施設等の更新時には施設のダウンサイジング等の最適化を検討します。

(3) 危機管理体制の充実

事故・災害に強い水道事業を目指し、災害時の水道機能の確保・早期回復に備えるため、危機管理体制を整えます。

③ 基本方針3

【持続】 健全で持続可能な「こまつの水」

経営基盤の強化と水道を担う人材の育成を図り、お客様サービスの向上や環境にも配慮した、将来にわたり健全で持続可能な水道を未来に届けます。

【取り組みの方向性】

(1) 経営基盤の強化

住民生活に必要な水道水を安定的に供給するため、持続可能な健全経営を目指し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。

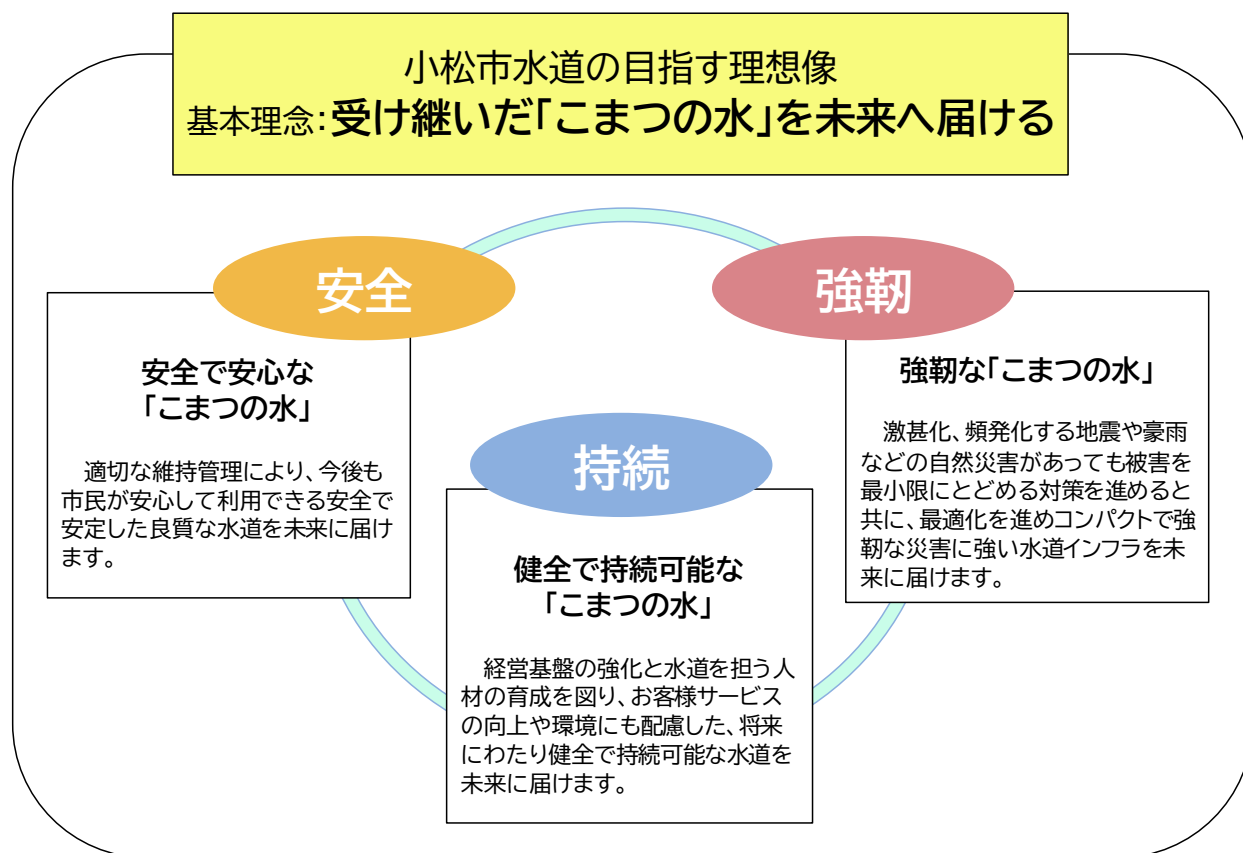
(2) お客さまサービスの向上

信頼される水道サービスであるために、お客さまの視点に立った情報提供を行い、水道事業への理解を深めていただくとともに、利便性の高い水道サービスの充実を目指します。

(3) 環境への配慮

貴重な水資源を効率的かつ安全に利用するため、3つの水源をバランスよく活用し、負荷をかけることのない水資源の利用に努めます。また、地球環境に配慮し、省エネルギー設備の導入を進めていきます。

■水道ビジョンのイメージ図



(3) ミッション(使命)、バリュー(行動指針)

本ビジョンの実現に向け、職員の心構えとして、ミッション（使命）、バリュー（行動指針）を定め、課題解決に取り組んでいきます。

【ミッション】 「こまつの水を守る」

【バリュー】 「市民から信頼される水道」

<目指す職員像>

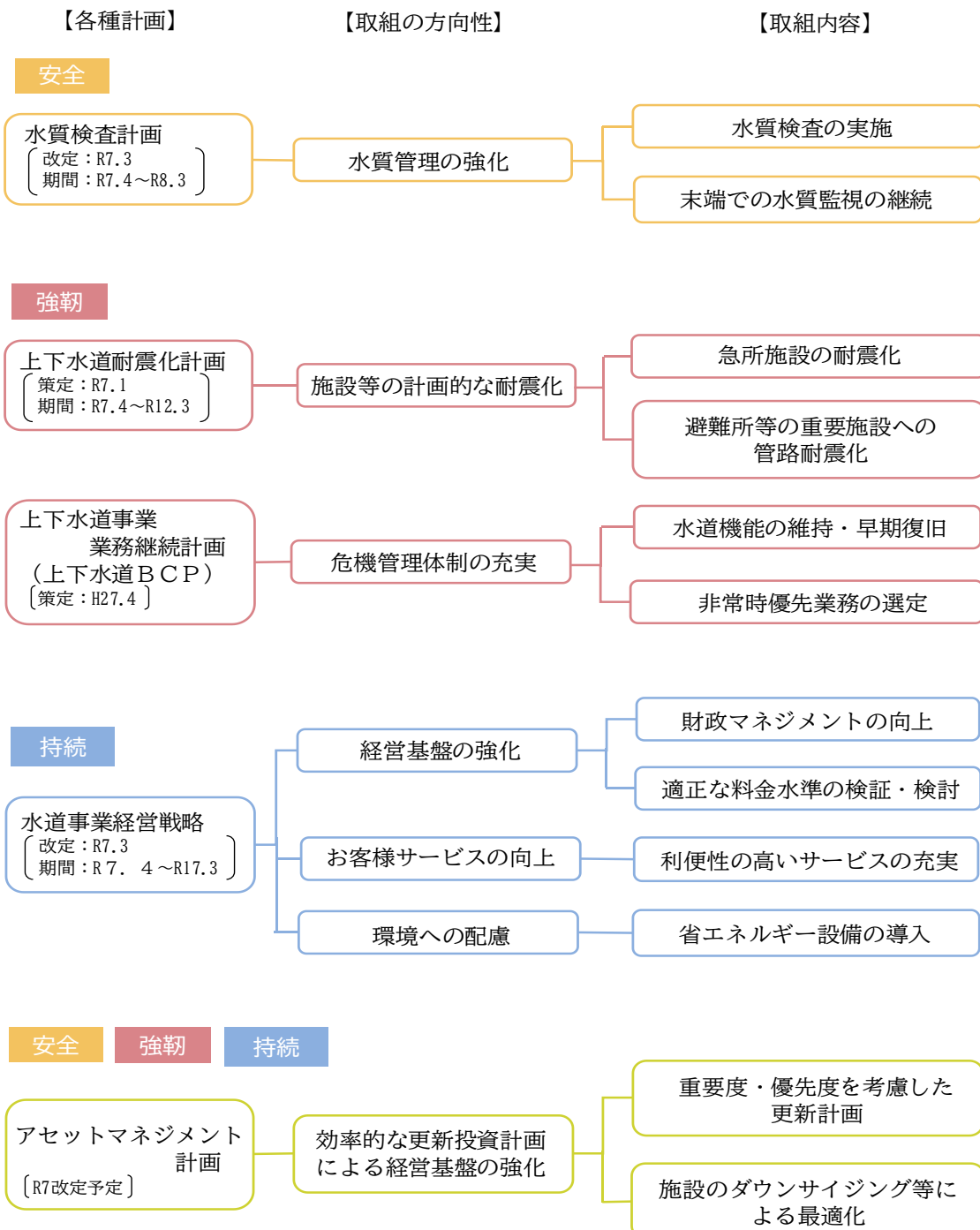
水道ビジョンの実現とこれまで経験のしたことない多くの課題の解決に向けて、地道に、果敢に、長期的で多様な視点で自ら考え行動します。

第3章 ビジョンの具体的な進め方と見直し

1. ビジョンの具体的な事業の進め方

(1) ビジョンの具体的な事業の進め方

本ビジョンは基本理念、基本方針と取り組みの方向性を示したものであるため、方向性に基づく具体的な施策は、各種計画で進めます。



2. ビジョンの見直し

(1) ビジョンの見直し

水道事業を取り巻く環境は今後も厳しさを増すと共に、大きく変化していくと見込まれます。そのような中でもビジョンを実現するためには、常に経営環境や状況の変化を注視し、対応していく必要があります。

ビジョンの見直しについては、おおむね 10 年とし、上位計画、水道関連法令、国のビジョン改定などに合わせ、必要に応じて随時見直します。

発行年月 令和 7（2025）年 4 月

発 行 小松市上下水道局料金業務課
〒923-8650
石川県小松市小馬出町 91 番地
電 話：0761-24-8114
F A X：0761-21-8114